

## ○ 優良協働事例の紹介（平成 25 年度）

# 「若者が活躍できるまちづくり」

平成 25 年度信州協働大賞【優秀賞】

## 1 主な協働の主体

主団体：一般社団法人ループサンパチ（上田市）  
特定非営利活動法人侍学園スクオーラ・今人（上田市）  
一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター（上田市）  
有限会社デザインルームエム（上田市）  
上田商工会議所  
上田市（商工観光部商工課）  
長野県（上小地方事務所商工観光課）

## 2 事業実施に至った経過

### 【背景】

地域経済の振興を図るため、新規創業を促進し、雇用を創出し若者などの働く場を確保するとともに、社会参加が困難な若者層の社会復帰のサポートする必要があります。

行政や商工会議所では、様々な創業支援施策を講じておりますが、若者にとっては、相談窓口自体が分からないなど認知度は低い状況です。

また、職業訓練等のサポート制度も、きめ細かな体制の構築が望まれています。

このため、創業を目指す若い人材を育成・支援と、引きこもりやニートなど社会参加が困難な若者層の社会復帰を促す土壌づくりが必要となっております。

### 【経過】

平成 23 年 11 月、上田市を拠点に東信地域の人と人を繋げる活動等を行う市民団体ループサンパチが、若者の創業支援・就労支援・ニート等の社会復帰支援を行い、地域の活性化を図るためのコワーキングスペースの開設事業を企画・提案しました。

この提案を受けて上田市が、県の「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」として「若者が活躍できるまちづくり」事業を提案し、採択されたことから、ループサンパチを実施主体として市が補助金を交付しました。

この補助金を活用してループサンパチは、平成 23 年度にコワーキングスペース「HanaLab（ハナラボ）」を開設し、若者の創業支援・就労支援・ニート等の社会復帰支援の事業を進めました。

事業推進にあたっては、次の主体が補助金制度の枠組みとしての「会議体」を構成し、それぞれが役割分担し、事業推進において連携・協働しました。

- ・ループサンパチ（平成 25 年 11 月、一般社団法人として法人化） 本事業の中心的役割
- ・特定非営利活動法人侍学園スクオーラ・今人（若者の自立を支援） 社会復帰支援とサポート人材の育成
- ・一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター〔AREC〕（産学官連携による技術・研究開発支援及び産業人材育成等） 運営、事業への助言・支援
- ・有限会社デザインルームエム（ホームページ制作や印刷物作成、デザイン） 経営者・創業者の立場から相談・人材紹介
- ・上田商工会議所 創業相談や創業融資資金の斡旋

- ・上田市(商工観光部商工課) 補助金の交付、市の商工・雇用施策等の紹介
- ・県 会議体に参加、創業融資制度等の施策の紹介や講習会等の情報提供

### 3 事業内容

#### 【平成 23 年度】

コワーキングスペースの施設を整備し、広報周知、ホームページ発信により利用促進を図るとともに、オープニングイベント(H24.2)を開催しました。

#### 【平成 24 年度】

##### (1) 若者が創業するための場づくりと情報発信

###### ① ネットワークづくり

コミュニティ促進交流会の開催 (H24.5~H25.2・8回・10人/回)

###### ② ネットワーク内マッチング

マッチングにより以下のプロジェクトを実施した。

- ・東信州ギフトプロジェクト(創業者・ライター・デザイナー・カメラマンをマッチングし、農家のカタログギフトを制作(H24.7)、販売(H24.4~H24.7・4回・5人/回))
- ・上田紬プロジェクト(ビジネスモデルの勉強会に参加した人材(服飾パタンナー・広告メディア・信州大学学生・創業者)をマッチングし、上田紬の新規販路開拓のプロジェクトを実施、企業等に提案(H24.11~H25.2・4回・5人/回))
- ・その他、利用者同士のマッチングを実施(随時)

###### ③ 一般市民への広報業務

- ・広報誌の発行(H24.8・H25.2の2回・発刊5000部/回)



###### ・その他の広報

ホームページでの活動紹介/告知(随時)

<https://www.facebook.com/Coworking.hanalab>

イベントやイベントレポート等の紹介

スタッフによるブログ発信

##### (2) 創業するための支援サポート体制の構築

###### ① 勉強会の実施

- ・きっかけづくり勉強会

H24.5.31 「自分の仕事をみがき直す」中村 真広氏 12人

H24.9.2 「ソーシャルデザイン」兼松 佳宏氏 15人

- ・専門知識講習会

H24.12～H25.2 (6回)「TitaniumMobile 講座」 八木都志郎氏 8人/回

H25.2.16 「夢をかなえるための会計講座」 木内孝信氏 8人

H25.2.10 「ソーシャル時代のライティング講座」 佐々木公美子氏 20人

H24.12～H25.2 (5回)「プロフェッショナル企画講座」 後藤治氏 35人/回

## ② 創業支援

「会議体」による会議や打合せを行い、創業支援などを実施 (H24.5～H25.1・9回・7人/回)

・創業支援による開業 3件(スポーツジム〔上田市在住のスポーツトレーナー。ハナラボ内に開業〕・飲食店〔上田市在住の20代の若者。ジギスカン料理店〕・喫茶店〔軽井沢町在住の30代のカフェ店長経験者が開業〕)

いずれも、事業計画書等の作成サポート、創業融資制度の利用と資金調達相談、開設場所や施設整備のための人材紹介などを行いました。

・創業相談 4件(簡易ホテル・美容室・スポーツジム他)。いずれも、融資・資金調達相談、開設場所や施設整備のための人材紹介、開業届・青色申告等個人事業に必要な事項の相談などを行いました。



## (3) ひきこもりやニート等の若年層の社会復帰をサポートできる人材育成

### ① 体制づくり

・待学園スクオーラ今人と協働し、創業対象者と農業事業を立上げ



・待学園スクオーラ今人の生徒の体験学習とコーディネートの体制づくり

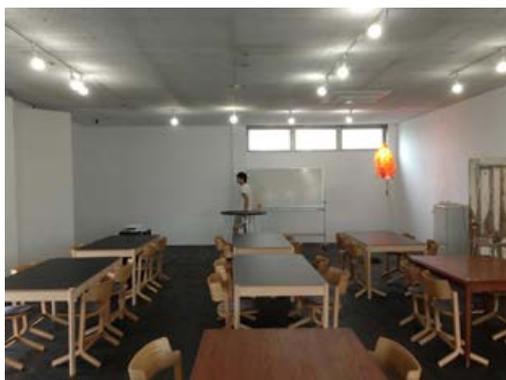
### ② 販路開拓

- ・東信州ギフトへの参加（3件の販売）
- ・軽井沢ホンモノ市へ出店
- ・ホンモノ市にて軽井沢町内の食料品店とのマッチング
- ・「美味だれ」を開発する事業者とのマッチング
- ・トマトケチャップの試食会を実施（意見を参考に商品化）
- ・ランチ会を実施し、消費者に紹介
- ・冬場の事業として「焼き芋」事業をサポート
- ③ コーディネーター育成
  - ・体験学習を通して若年層とのコミュニケーションを実施
  - ・農業創業を目指す若者との面談を実施
- ④ 紹介支援
  - ・トマトケチャップの加工所、有機農業者、加工品パッケージのデザイナー紹介など

### 【平成 25 年度】

#### (1) 県の「地域発元気づくり支援金」事業

##### ① セミナールームの開設



各種講座やセミナーに使用するために、コワーキングスペース「HanaLab」と同じ建物内に、平成 25 年 7 月、セミナールームをオープンしました。面積は、94 m<sup>2</sup>で、机 8 脚、椅子 32 席を備えています。

また、併せて、「HanaLab」に、アイデアを実現させる環境を作りたいと、街づくりや地域活性化の活動に対して民間の資金提供を募るサイト「ファーボ長野」にプロジェクト応募し、民間から 212,000 円の寄付を受けました。平成 25 年 10 月、壁一面にアイデアボード(ホワイトボード)を設置しました。



- ##### ② 創業や専門知識が習得できる講座・セミナーの開催
- ア 創業・ビジネススキルアップ講座

創業に関する必要知識を「ヒト・モノ・カネ」の 카테고리をもとに実施しています。  
(開催予定の講座も記載しています。)

<ヒト>

- ・アントレプレナーシップ講座（創業にチャレンジする意欲の向上を図るための講座）  
H25.10（5回）「お願い上手になる！」児玉光史氏 5人/回



- ・コミュニケーション講座（コミュニケーション能力を高めるための講座）  
H25.9.16 「コミュニケーション/ファシリテーション講座」吉田創氏 9人
- ・ビジネスマナー講座（ビジネスマナーを体系的に学ぶ講座）

<モノ>

- ・マーケティング講座（マーケティングを体系的に学ぶ講座）  
H25.11～H25.12（5回）「ソーシャルメディアと活用法」高橋遼氏 2人/回
- ・広報講座（広報能力、人に伝える能力の向上を図るための講座）  
H25.7.20「一言で伝える力を身につけよう！広告コピーワークショップ」  
東海林高夫氏 8人



- ・プロフェッショナルな企画講座（課題解決能力・提案力を磨き、企画提案できる能力を身につける講座）

H25.8～H25.10（4回）「リーローンチパッド講座～新規事業ゼロ立ち上げのための実践ワークショップ～」堤 孝志氏 5名/回



<カネ>

- ・経営会計講座（経営会計の知識を身につける講座）

<モバイル>

- ・TitaniumMobile 講座（複数のスマートフォンシステム（iOS・Android）のアプリケーションを一括開発できる講座）

H25. 11（3回）「3日で速攻理解 WordPress 基礎講座」小山博史氏 6人/回

- ・アプリ企画講座（モバイル端末のアプリケーションの企画講座）
- ・UI/UX講座（スマートフォン向けのホームページ等のデザイン講座）
- ・映像講座（インターネット速度の高速化に伴う映像講座）

イ 女性の働き方講座

H25. 9. 23「テキストスタイルを作ることは、仕事を作ること」畠山陽子氏 6名



H25. 10. 26「なぜママになった方が社会から必要とされるのか？」尾崎えり子氏 6名

H25. 11. 3「上田を歩こう。上田を着よう。・ファッションワークショップ」池田泉氏 9名

### ③ 創業／就業するための支援サポート

民間と行政が協働して必要な支援策を講じ、以下のサポートを行っています。

- ・コワーキング施設の優待利用

コワーキング施設 HanaLab. を創業場所として、一定期間の利用料を優遇した形で提供することで、創業初期を支えます。

- ・創業支援

創業支援による開業 4件(音工房クララ〔上田市在住の30代ピアニスト。HanaLab でCM等のBGMなどを有料で作曲〕・一般社団法人信州若者1000人会議〔渋谷ヒカリエで

Uターン促進の事業を実施]・一般社団法人ローカルカラー〔福利厚生事業を実施〕・株式会社ハムラ〔上田紬のブランディング事業、動画作成事業、Facebook ページ作成支援事業〕

いずれも、事業計画書等の作成サポート、創業融資制度の利用と資金調達相談、開設場所や施設整備のための人材紹介などを行いました。

- ・就業支援

人材企業（株式会社シードジャパン）を紹介・サポートし、就業支援に繋がります。

#### ④ キュレーター（講座企画者）の育成

セミナールームは今後、稼働率を上げることで自立型事業を目指します。そのため、情報と社会を橋渡しし、講座を企画するキュレーターの育成のための講座を開催しています。

#### ⑤ 市民への情報発信

講座内容や支援内容等を広く市民に告知するために、次のような情報を発信しています。

- ・広報誌（年2回）

講座や支援内容が総合的に理解できる内容をまとめ、発行しています。

- ・ホームページ

講座の告知・募集、レポートなどを紹介しています。

- ・SNS（Facebook）

講座の告知・募集、講座風景などホームページよりも細かい情報を紹介しています。

- ・ループサンパチメールマガジン（500名程度）

講座を告知し、募集を促進しています。

### (2) AREC（一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター）との協働事業

#### ① 創業セミナー

H25.6.19「始めるなら今がチャンス！最大200万円の創業補助金説明会」木内孝信氏 10名



H25.7.31 「飛躍したい方チャンス！最大200万円助成金説明会」

関東経済産業局 地域経済部地域振興課 課長補佐 白井 憲一氏・産業部経営支援課 経営支援係長 齋藤 義久氏 22人

#### ② 信州若者1000人会議（H25.6.29）

長野県出身・在住の若者が信州のこと、信州のために働くことについて、大人も交えて話すことで、Uターンを促進するための事業です。ループサンパチでは企画立案サポートやインターン事業の紹介等を行いました。

主催：一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター

共催：国立大学法人 信州大学

後援：長野県、経済産業省関東経済産業局、信濃毎日新聞社、中日新聞、東京新聞、小布施若者会議、信州おやき協議会、株式会社地元カンパニー、ループサンパチ

参加者数 800 人

③ 信州サマーインターン 2013 年 8 月 19 日～2013 年 9 月 21 日

学生のUターン促進や県内就職を高めるための事業。長野県内の学生、長野県出身で県外進学した学生を2～3名のグループにして企業へ5週間のインターンを実施。通常の職場体験のインターンと違い、企業が課題やリソース不足により取り組めない事業に対し、経営者直轄の新しいプロジェクトを発足し、実践型のインターンを実施しました。

参加企業数 8 社、参加学生数 18 名



主催：一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター、信州若者 1000 人会議

協力：上田市、ループサンパチ（代表の井上氏がゲストスピーカーとして座談会を主宰。

タイトル「夏は信州でインターン！信州の経営者に色々聞いてみよう！」）、株式会社地元カンパニー

#### 4 各主体の役割分担

各主体で補助金制度の枠組みとしての「会議体」を構成し、毎月 1 回の会議を開催、コワーキングスペース「HanaLab」の運営及び事業推進について協議し、相互の連携と協働を行いました。

(1) ループサンパチ(上田市を拠点に長野県東信地域の人と人を繋げる活動等を行う団体)

実施主体としてコワーキングスペース「HanaLab」を整備・運営し、若者の創業支援・就労支援・ニート等の社会復帰支援等の事業を推進しました。

また、広報誌の発行・情報の発信・勉強会の開催などにより、施設の利用と事業への参加を促進した。施設開設後は、見学者・体験利用者・会員利用者の利便向上を促進しました。

(2) 認定 NPO 法人侍学園スクオーラ今人(若者の自立を支援している認定 NPO 法人)

社会復帰支援事業を支援し、その体制づくりを進めた。社会復帰を目指す若者の就労促進と社会復帰をサポートできる人材の育成に努めた。

(3) A R E C (産学官連携による技術・研究開発支援及び産業人材育成等を行う一般財団法人)

運営・事業に対してのアドバイスや創業希望者に対する人材紹介、情報提供を行った。また、市内企業等とのネットワーク構築を助言・支援した。

(4) 有限会社デザインルームエム(ホームページ制作や印刷物作成の民間デザイン会社)

運営・事業に対してアドバイスするとともに、経営者・創業経験者の立場から、創業者等に対する相談支援、人材紹介などを行った。

(5) 上田商工会議所

創業者等に対して、創業相談や創業融資資金の斡旋を行った。また、創業融資制度等施策の紹介、講習会等各種情報の提供、専門家等の人材紹介などを行った。

(6) 上田市

実施主体のループサンパチに対して、施設運営や事業推進について助言した。また、商工観光部商工課及び雇用促進室が、商工・雇用施策等の紹介、講習会等各種情報の提供、専門家等の人材紹介などを行い、創業支援・就労支援で連携した。また、施設利用や事業参加についての周知・広報にも協力した。

(7) 長野県

創業者等に対して、創業支援や創業融資制度等施策の紹介、講習会等各種情報の提供、専門家等の人材紹介を行った。

## 5 事業の成果

(1) 若者が創業するための場づくりと情報発信

① 場づくり

ネットワークづくりとマッチングを実施したが、ネットワークづくりでは、会員を中心としたコミュニティ促進交流会を実施することで、円滑な交流とマッチングにつながりました。

また、利用者同士のマッチングが自然的に発生し、仕事の受発注等が生まれました。

県政ランチミーティングにおいて、「若者が町で活躍するには」を懇談テーマに意見交換しました。(H24.12)



ぺちやくちゃないとNAGANO（長野県のクリエイター（創作活動に取り組む人）とその世界を盛り上げよう！という趣旨で、「クリエイターのプレゼン（発表）大会」を開催しました。十数名の様々な分野のクリエイターが、プロジェクターで大きく映し出した写真を使って、次々にプレゼンテーション(発表)を繰り広げ、来場者は、ドリンクを片手にリラックスしてそれを見ながら、ぺちやくちゃおしゃべりしました。2012/8/25 100人、2013/9/20 80人。主催：長野クリエイターズネットワーク 上田開催は共催：HanaLab)



## ② 情報発信

広報誌、ホームページによる情報発信などで活動を広報するとともに、メディア等にも取り上げられ、利用者・見学者・コワーキング施設開設希望者等に周知しました。

また、県内外のコワーキング施設開設者に対し、開設の経緯や行政と協働するメリットを伝えることで、地方独自のコワーキング施設の先進事例となり、モデル事業として一定の成果を上げました。コワーキング施設の開設は県下初であり、その後、県内外にコワーキング施設がオープンしています。



## ③ 反省点

社会起業家への訴求が不十分であり、中間支援組織と連携してのネットワークづくりが課題です。

コワーキングスペースの活用について、企業への情報発信が不足しています。

### (2) 創業するための支援サポート体制の構築

#### ① 勉強会の開催

きっかけづくり勉強会や専門知識講習会を開催する上で、受講者のニーズを把握することができ、専門知識講習会の講座内容に反映することができました。

また、運営の自立に向け、参加費のみで開催する講座の開催にも取り組みました。

#### ② 創業支援

気軽に相談できる環境を構築することで、今まで行政・商工会議所に距離があった若者の創業に繋げることができました。

また、「会議体」で相談することで、多方面からのサポートが可能となり、今後も創業支援で機能する体制づくりを構築できました。

#### ③ 反省点

ニーズに合わせた講座の開催が必要であり、専門知識習得に関する講座のニーズは高いものがあります。

経験や自己資金が少ない創業希望者が円滑に創業できる環境をさらに整えるために、「会議体」による支援の一層の強化が必要だと言えます。

(3) ひきこもりやニート等の若年層の社会復帰をサポートできる人材育成

① 体制づくり

侍学園スクオーラ今人の生徒とは、体験学習を通して関係づくりの体制を整えられましたが、農業事業が1年目だったため、品質や安定生産に課題があり、積極的な生鮮の販路開拓までは至りませんでした。

販売会やイベントを開催し目に触れる機会を増やすとともに、加工に焦点をあて、トマトケチャップ、焼き芋等の事業を行えることができました。

② 反省点

安定生産の体制が整った際には、販路開拓のサポートが必要になると言えます。

6 今後の予定

今後も、コワーキングスペース「HanaLab」の運営を通し、若者の創業支援・就労支援・ニート等の社会復帰支援の事業を継続します。

各主体からなる「会議体」は補助制度の枠組みとして構築しましたが、今後の関与については、これまでの経緯と成果を踏まえて、支援策の効率的・効果的な推進を図るために、ゆるやかなネットワークに移行し、継続した連携と協働を続けます。平成23・24年度に、その基礎が築かれています。今後の運営では、人員増による人的体制の整備も必要となっています。

今後の課題に対しては、次の対策・改善策を講じて行きます。

- ① 社会起業家への訴求が不十分であるので、中間支援組織と連携して社会起業家のネットワーク促進を図る。
- ② 企業のコワーキングスペースの活用法など、企業への情報発信を拡充する。
- ③ ネットワークを拡充し、プレゼン会やビジネスコンテスト等を開催することで、ネットワーク内での協働を生み出す。
- ④ 専門知識習得の講座などを積極的に開催し、さらなる円滑な創業支援に繋げる。
- ⑤ 販路開拓をサポートするため、飲食店等紹介や展示会等大口顧客獲得のための情報提供を行う。
- ⑥ 行政等の支援情報を集約・整理することで、相談者と支援策のマッチングを行い、支援経験を持つ企業や専門家との連携を図る。
- ⑦ さらなる創業支援のため、人材バンクの構築とコーディネーターの育成を目指す。

コワーキング施設の全国的なネットワークづくり（「コワーキング・ビザ」（東京都））も進んでおり、今後は、「ネットワークハブ」としての役割も目指すとともに、創業支援と相まって、コワーキング施設が、「ビジネス・インキュベーションの拠点」としての機能を果たすことが期待されています。

また、今後のコワーキングスペース「HanaLab」は、「ツナゲル（繋げる）」、「ソダテル（育てる）」、「モドス（もどす）」の3つを事業の柱に、チャレンジする人をサポートして行きます。

- ・ツナゲル（繋げる） 「HanaLab」を核とし、人と人、企業と企業を繋げることで、新しいコラボレーションを生み出す。
- ・ソダテル（育てる） 「HanaLab」を中心として「教育支援」、「創業支援」、「社会復帰支援」を行う。「教育支援」では、仕事に生きる「教育」を中心に講座を開催し、人材を育成する。「創業支援」では、チャレンジする人をサポートする。「社会復帰支援」では、農業事業をはじめとしたサポートできる人材の育成を行う。
- ・モドス（戻す） 地方都市の抱える課題の一つとして、学生の進学・就職の県外への流出が挙げられる。学生など若者を中心とした拠点を東京に作ることで、Iターン・Uターンを活性化することを目指す。